

数学科ご担当先生

令和8年1月
数研出版株式会社

「数学A 教授資料」（数A712）訂正のお願い

常日頃は弊社書籍をお使いいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、大変恐縮に存じますが、本書に下記の誤りがございました。心よりお詫び申し上げますとともに訂正内容についてご報告させていただきます。


誠に恐れ入りますが、ご指導の際にはご留意を賜りますようお願い申し上げます。

不備を残しまして、ご迷惑をおかけいたしますこと、重ねてお詫び申し上げます。

(教授資料 本冊)

訂正箇所	原文	訂正文
157頁 右段 下から1行目	したがって、正八面体PQRSTUは、正四面体 <u>APQR</u> の半分の体積をもつ。	したがって、正八面体PQRSTUは、正四面体 <u>ABCD</u> の半分の体積をもつ。

訂正箇所	原文
221頁 右段 教科書縮刷 5行目	自然数 a, b について、 a を b で割ったとき余りを r とすると
	訂正文
	自然数 a, b について、 a を b で割ったとき <u>の</u> 余りを r とすると

訂正箇所	原文
269頁 1行目	★ <u>教</u> p. 157 1 次不定方程式の整数解 (<u> 追加例</u>)
	訂正文
	<u>教</u> p. 157 1 次不定方程式の整数解 _____ (削除) (削除)

訂正箇所	原文
272頁 下から11行目	○4個から3個取る組合せと順列の具体例から，組合せ <u>の順列</u> の間の関係式について考察するコンテンツ。
	訂正文
	○4個から3個取る組合せと順列の具体例から，組合せ <u>と順列</u> の間の関係式について考察するコンテンツ。

訂正箇所	原文	訂正文
306頁 右段 21行目	ゆえに，点 <u>B'</u> は直線 n 上にある。	ゆえに，点 <u>B</u> は直線 n 上にある。
309頁 左段 11行目	したがって，正八面体 $PQRSTU$ は，正四面体 <u>$APQR$</u> の半分の体積をもつ。	したがって，正八面体 $PQRSTU$ は，正四面体 <u>$ABCD$</u> の半分の体積をもつ。

※お持ちの刷では，上記の訂正内容が修正済みの場合がございます。

(教授資料 別冊「数学A 学習評価に関する参考資料」)

訂正箇所	原文
23頁 左段 下から6行目	○特殊な条件が付く組合せを， <u>味方</u> を変えたり別 なものに対応させたりして処理することができる。
	訂正文
	○特殊な条件が付く組合せを， <u>見方</u> を変えたり別 なものに対応させたりして処理することができる。

訂正箇所	原文
25頁 左段 下から2行目	○結果が不確実な状況下において，どの選択が有 <u>理</u> かを判断する基準として，
	訂正文
	○結果が不確実な状況下において，どの選択が有 <u>利</u> かを判断する基準として，

※お持ちの刷では，上記の訂正内容が修正済みの場合がございます。

(指導用教科書)

訂正箇所	原文
177頁 5行目	自然数 a, b について, a を b で割ったとき <u>余</u> りを r とすると
	訂正文
	自然数 a, b について, a を b で割ったとき <u>の</u> 余りを r とすると

訂正箇所	原文
178頁 練習3の解答(朱文字)	[1] $x+3y+4=12$, $2x+y+3=6$ を満たす x, y の組は存在しない。
	[2] $x+3y+4=\underline{12}$, $2x+y+3=\underline{6}$ を解くと $x=2, y=1$
	[3] $x+3y+4=\underline{12}$, $2x+y+3=\underline{6}$ を満たす x, y の組は存在しない。
	訂正文
	[1] $x+3y+4=12$, $2x+y+3=6$ を満たす x, y の組は存在しない。
	[2] $x+3y+4=\underline{9}$, $2x+y+3=\underline{8}$ を解くと $x=2, y=1$
	[3] $x+3y+4=\underline{8}$, $2x+y+3=\underline{9}$ を満たす x, y の組は存在しない。

※お持ちの刷では, 上記の訂正内容が修正済みの場合がございます。

以上